

次期宮崎県森林環境税の
検討状況について

次期宮崎県森林環境税の検討状況について

宮崎県森林環境税は、県土の保全、水源のかん養など森林の有する公益的機能の重要性を踏まえ、県及び県民等が協働して取り組む森林環境の保全に関する施策を推進することを目的に平成18年4月に導入し、5年ごとに延長して現在第4期目の終期である。

昨年度にアンケート調査や意見交換会を実施し、5期目以降の取組について検討を行った。

1 県民・企業アンケート調査

- 税を活用した取組については、県民で69%、企業で74.1%が「評価する」又は「どちらかといえば評価する」と回答
- 税の継続については、県民で72.8%、企業で75.4%が「賛成」又は「やむを得ない」と回答
- 一部に、国の森林環境税との二重課税ではないかという意見

2 県民との意見交換会

- 県内7地域において県民との意見交換会を実施した結果、ほとんどが継続に「賛成」
- 税の認知度を高めるため、もっと普及啓発が必要という意見有り
- 国の森林環境税との区別を明確にするため、「宮崎県森林環境税」の名称を変更した方が良いとの意見が約半数

<参考>地域意見交換会での提案例

- ・ 水と緑の森林づくり税
- ・ 宮崎ひなたの森林づくり県民税、ひなた森林保護税、ひなたの美しい森林づくり税
- ・ 水源税
- ・ 宮崎未来への森づくり税
- ・ 森林共生税
- ・ みやざき森づくり税、宮崎県みどりの森づくり税、森づくり環境税 など

3 使途事業

県内で活動する森林ボランティア団体数は本税の導入により約3倍に増加し、本税導入後に始まった企業の森づくりの協定締結件数は延べ79団体となるなど、県民の理解と参画による森林づくりを進めている。

また、水源地上流域などの森林を対象とした広葉樹植栽等の支援による公益的機能の高い森林づくりや、森林環境教育による次代を担う人づくりを行っている。

〔主な成果〕

内容	成果
森林ボランティア団体数	70 団体 (H17) → 201 団体 (R5)
企業の森づくり	延べ 79 団体、615.4ha (H18～R6)
広葉樹の植栽等	延べ 6,076ha (H18～R6)
森林環境教育の実施	940 回 (H18～R6)

4 今後のスケジュール

10月に令和7年度第2回宮崎県森林環境税活用検討委員会を開催予定

○議題（予定）

- ・宮崎県森林環境税の次期基本方針（案）について
- ・宮崎県森林環境税を活用した取組について